



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 10. 23

1, 2(3)年生用 秋号

就職戦線厳しさ顕著



1, 2(3)年生の皆さんにとっては進路はまだ先とあまり関心がないかもしれません。しかし特に就職希望者にとっては年々厳しい求人状況になりつつあります。本校では**毎年就職希望者が増え今年の卒業学年の就職希望者が7割で80人以上**となりました。ところが日本の産業界は円高の進行と、ヨーロッパ経済の不安により、企業の海外進出が進み国内の企業が疲弊しつつあります。そのために**企業からの求人は減るばかり**です。

皆さん達が卒業する頃にこの状況が回復している見込みはほとんどありません。日本の企業は超円高という鉄の靴を履かされて世界的競争に臨まなくてはいけないような状況です。そのために、日本企業が置かれた状況は年々悪くなる一方です。残念ながら**皆さんが卒業する頃はもっと厳しくなっている可能性の方が高い**でしょう。

今年 3, 4 年生は一次試験での不合格者が合格者を上回っています。22 日現在就職未定者が 45 名もおり、これから先卒業式までにどれだけの人が就職できるのか心配です。

今年の生徒が**不合格になる原因は、ほとんどが「基礎学力不足」と「元気がない」「コミュニケーション能力がない」というものです**。就職試験で問われる学力は小学校レベルです。せめてこのレベルの学力をきちんと付けるようにして欲しいものです。おとなしく素直な生徒が多い本校にとって、もう少し元気があり、人との会話ができるよう日頃から訓練して欲しいものです。1, 2 年生であれば今からこうした点を心がけ、日々努力すれば何とかかなるでしょう。

進路はまだ先と思わず、先輩達の失敗から我が身を振り返って欲しいものです。くれぐれも**卒業時になり、「もっと早くからしっかりやっておくべきであった」と後の後悔先に立たず状態にならないように**して欲しいものです。



進学者は自分の将来設計をしっかりと

就職難のこの時代に、可能ならば一人でも多く進学を考えて欲しいと思いますが、しかし進学者も 2 年ないし 4 年後には就職のことを考えなくてはなりません。**進学者といえどもそもそも将来どのような仕事に就きたいのかをしっかりと考えておくことが必要**です。卒業学年になってから考えるのではなく、2 年生くらいから学校見学に行ったり、学校の資料を取り寄せ学校研究をすることは必要なことです。

ただし、専修学校を希望する人は進学しても例えば芸術や芸能関係のようによほど才能に恵まれないと、実際の職に就くことが難しい分野もあります。また都会ならば就職先はあっても田舎では需要が少なく職業として成り立ちそうにない分野もあります。夢を追い求めることも大切ですが、現実をしっかりと見つめて判断することも必要でしょう。

また進学すればお金もそれなりにかかります。親と予めよく相談しておかないと、自分の思い通りにいかないこともありますので注意しましょう。また何よりも特に大学、短期大学への**進学者はそれなりの学力がないと入学後についていけません**。本校ではほとんどが AO 入試や、指定校推薦で入学しています。入学は比較的簡単にできても、一般試験で入った人と対等に勝負が出来ない可能性があります。基礎学力をきちんと付けるよう心がけましょう。